

久留米市環境基本計画に基づく行動計画の実績報告について (平成28年度)

1 計画の概要と評価の目的

久留米市環境基本計画に基づく行動計画は、久留米市環境基本計画がめざす5つの基本目標の実現に向けて、着実に施策を推進するために策定したものです。具体的な事業計画として毎年度見直しを行いながら取り組んでいくこととしています。

2 進捗状況の評価・報告について

重点事業については実績及び進捗状況を、個別事業は、事業の実績のみを公表します。

また、重点事業については、評価結果によって、新たな事業の追加、数値目標等の見直しなどを行うこととしています。

3 重点事業の進捗状況に対する評価について

各事業の進捗状況を4段階で評価します。

【評価基準】

	S	A	B	C
達成度	既に目標を達成している	目標を達成できる見込み	目標達成には努力を要する	目標達成までには厳しい状況にある

4 重点事業進捗状況の評価結果一覧

(1) 達成度ごと

達成度	指標数
S	3
A	13
B	4
C	1
合計	21

(2) 指標ごと

事業NO	事業名	評価
1	新エネルギー政策推進事業（エネファーム）	C
2-1	新エネルギー政策推進事業（新エネルギー利用実現に向けた研究・下水熱）	A
2-2	新エネルギー政策推進事業（新エネルギー利用実現に向けた研究・地中熱）	B
3	防犯灯設置推進事業	A
4	コミュニティサイクル利用促進事業	A
5	車両管理の効率化	B
6	環境関連産業支援事業	A
7	まなびのまちづくり事業（3R推進事業）	A
8	まなびのまちづくり事業（生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業）	S
9	新たな分別リサイクルの推進	S
10	資源回収奨励制度の推進	A
11	自然環境の保全と共生事業	S
12	多面的機能支払交付金事業	A
13	まなびのまちづくり事業（自然環境啓発事業）	A
14	生活排水処理施設整備事業	A
15	環境美化促進事業（くるめクリーンパートナー）	B
16	花とみどりの景観整備事業	A
17	環境まなびのまちづくり事業（環境フェア）	A
18	環境まなびのまちづくり事業（事業全体）	A
19	環境負荷低減行動促進事業（くるめエコ・パートナー）	B
20	環境負荷低減行動促進事業（環境共生都市づくり協定）	A

5 平成28年度評価における行動計画の見直しについて

①重点事業 No8 まなびのまちづくり事業：生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業

◎目標の変更

指標：生ごみリサイクルに取り組む保育園・学校等の数

目標：29年度 106施設 → 109施設

理由：29年度の目標を28年度に達成したため、新たな目標を設定。

②重点事業 No11 自然環境の保全と共生事業

◎重点事業の変更

理由：久留米市生物多様性地域戦略を策定したため、新たな重点事業を設定する。

【28年度までの重点事業】

基本目標	自然とふれあい、自然と生きる〈豊かな自然環境の保全と共生〉		
基本施策	生物多様性の保全		
個別施策	希少生物の生態系の保全		
事務事業名	自然環境の保全と共生事業		
事業概要	生物多様性を保全するためには、総合的・横断的な施策の推進が必要であり、生物多様性保全に関する明確な目標や方向性を定めた生物多様性地域戦略の策定を行います。		
指標	現況（平成26年度）	目標	目標年度
生物多様性地域戦略の策定	—	戦略の策定	平成28年度

【29年度以降の重点事業】

基本目標	自然とふれあい、自然と生きる〈豊かな自然環境の保全と共生〉		
基本施策	生物多様性の保全		
個別施策	希少生物の生態系の保全		
事務事業名	自然環境の保全と共生事業		
事業概要	①生物多様性を確保するために、市内の特徴的で希少性のある地域で自然環境を把握するための調査を実施する。調査結果と専門家の意見を踏まえ、豊かな自然環境でのみ生息する生きものを指標種に設定し、市民参加のイベントや市民団体の活動のなかで、その指標種を中心としたモニタリング調査を行う。 ②自然体験を広める活動を行っている市民団体と協働しながら、啓発活動を行うことで、生物多様性の認知度の向上に努める。		
指標	現況（平成27年度）	目標	目標年度
①指標種の設定	なし	指標種を設定する	平成32年度
②生物多様性の認知度	25%	45%	

③重点事業 No16 花とみどりの景観整備事業

◎指標の変更

指標：明治通り、昭和通りサポーター一定着率

→ 指標対象路線に、BS通り・けやき通りを追加

目標：29年度 100%

理由：明治通り、昭和通りのサポーター一定着率が平成27年度に81%になったため対象路線を拡大する。

④重点事業 No18 環境まなびのまちづくり事業：事業全体

◎事業概要の変更

事業概要：【まなびのまちづくり事業 事業一覧】

→ 環境交流プラザを活用した環境啓発を追加

指標：環境まなびのまちづくり事業参加者数

目標：29年度 45,000人

理由：宮ノ陣クリーンセンター内の環境交流プラザが平成28年4月に開館し、環境交流プラザの環境啓発を個別事業N057に追加したため、事業一覧にも追加する。

⑤個別事業 No57 環境交流プラザの環境啓発

◎個別事業の追加

事業概要：展示学習・セミナー・ワークショップ・イベント等の開催を通じて、環境に関する「気づき」や「行動」を促すとともに、環境関連市民団体等の活動の拠点施設として活用促進を図る。また、環境交流プラザサポーターを育成し、市民との協働による環境啓発の仕組みづくりを図る。

理由：宮ノ陣クリーンセンター内の環境交流プラザが平成28年4月に開館し、環境交流プラザの環境啓発の取り組みを開始したため事業を追加する